

シングルおよびペアにおける減点／ボーナス判断の責任者と対処

|    | 内容  | 減点／ボーナス   |          |          | 責任者と対処  |
|----|---|---|----------|----------|---|
| 1  | 演技時間違反  | 5秒までの過不足ごとに   | シニア・ジュニア | ノービス     | レフェリー（計時係と協議した後）<br>レフェリーを含むジャッジ・パネルの多数決50対50の場合は減点無し<br>レフェリー<br>テクニカル・スペシャリストが特定し、テクニカル・パネルの多数決で決定する。テクニカル・コントローラーが減点を行う。   |
|    |   |   | -1.0 の減点 | -0.5 の減点 |   |
|    |   |   | -1.0 の減点 | -0.5 の減点 |   |
| 2  | 衣装／小道具違反  | プログラム全体に対して   | -1.0 の減点 | -0.5 の減点 |   |
| 3  | 衣装の一部／装飾品の氷上落下（1個以上）  | プログラム全体に対して   | -1.0 の減点 | -0.5 の減点 |   |
| 4  | 違反要素／動作<br>-不正なホールドでのリフト<br>注意：要素の実施中に不正な動作がある場合には不正動作に対する減点が適用され、少なくともベージック・レベルの要件が満たされている場合にはその要素はベージック・レベルとなる。満たされていない場合にはその要素はレベル無しとなる。 | -違反要素／動作ごとに－  | -2.0 の減点 |          |   |
| 5  | 演技中の転倒<br>転倒とは、スクーターがコントロールを失い、その結果体重の過半が身体のブレード以外の部分、例えば片手または両手、片膝または両膝、背、片尻または両尻、腕の一部によって氷上に支えられた状態と定義される                                 | シングル  | シニア      | ジュニア     | ノービス  |
|    |   | 1-2回目   | -1.0 の減点 | -        | -   |
|    |   | 3-4回目   | -2.0 の減点 | -        | -   |
|    |   | 5回目以降   | -3.0 の減点 | -        | -   |
|    |   | 転倒毎に  | -        | -1.0 の減点 | -0.5 の減点  |
|    | ヘア  | シニア・ジュニア  | ノービス     |          |   |
|    | 一方の転倒   | -1.0 の減点  | -0.5 の減点 |          |   |
|    | 両者の転倒   | -2.0 の減点  | -1.0 の減点 |          |   |
| 6  | 演技実施中の中断<br>・競技者および／またはその装備と関係のある不運な条件<br>ひもほどこけ、衣装やスクーター靴の破損など、その他<br>・競技者がケガをした場合<br>・医療行為が必要な場合（鼻血を含む）                                   |   | シニア・ジュニア | ノービス     | レフェリー   |
|    |   | 10秒未満   | 減点無し     | 減点無し     | 競技者が気づいた時点あるいはレフェリーの合図音のいずれか早いほうで滑走を止めなければならない。<br>40秒以内に演技を再開しなかった場合、競技者が40秒以内にレフェリーのもとに訪れた場合、またはレフェリーの判断で（レフェリーによる音によって）、3分間の追加猶予を競技者に与え、その時点でレフェリーは音楽を停止するよう担当者に命じる。減点5点を適用。 |
|    |   | 10秒を超え、20秒 まで   | -1.0 の減点 | -0.5 の減点 |   |
|    |   | 20秒を超え、30秒 まで   | -2.0 の減点 | -1.0 の減点 |   |
|    |   | 30秒を超え、40秒 まで   | -3.0 の減点 | -1.5 の減点 |   |
|    | 40秒を超えたら  | -5.0 の減点  | -2.5 の減点 |          |   |
|    | 演技中断から3分以内にレフェリーが演技復帰を許可しなかった場合、その競技者は棄権となる。レフェリーが演技の継続を認めた場合、減点はなしとする。   |   |          |          | レフェリー<br>医療行為（鼻血を含む）が必要な場合、レフェリーは合図音で演技を止めるよう競技者に指示する。  |
|    | 減点の対象としない   |   |          |          | レフェリー   |
|    | 問題が解消されたら、競技者は、中断したところから再開する。   |   |          |          | 競技者がそうと気づいた時点で滑走を止め、その旨、レフェリーに報告することができる。なお、レフェリーが音で合図したら滑走を止めなければならない。   |
| 7  | 音楽の不具合（音源違いも含む）<br>音楽のテンポや質に問題があった場合、または、なにがしかの理由で音楽が中断あるいは停止した場合、競技者は、そうと気づいた時点あるいはレフェリーの合図音のいずれか早いほうで滑走を止めなければならない。                       |   |          |          | レフェリー   |
|    |   | 音楽の不具合による中断は減点の対象としない。<br>中断箇所から続けるか、最初からやり直すか<br>を選ぶことができる<br>中断箇所から続けるものとする |          |          | 競技者がそうと気づいた時点あるいはレフェリーの合図音のいずれか早いほうで滑走を止めなければならない。  |
| 8  | 演技開始の遅れ<br>名前呼び出しから演技開始姿勢を取るまで  |   | シニア・ジュニア | ノービス     | レフェリー   |
|    |   | 30秒経過後  | -1.0 の減点 | -0.5 の減点 | 競技者や装備に関係のある不運な条件が発生し、60秒では解決できない場合、減点5.0を適用し、3分間の追加猶予を与える  |
|    | 60秒経過後  | 棄権扱い  | 棄権扱い     |          | テクニカル・コントローラー<br>オンラインではPCが規定に従い要素を削除し、テクニカル・コントローラーは正式に認定する／訂正する。オフラインは、テクニカル・コントローラーは、要素を削除・認定する。   |
| 9  | ショート・プログラムの規定に従わない要素、またはフリー・スケートニングのウェル・バラン<br>ス・プログラムに従わない要素   | 要素には削除を示す * が付される。  |          |          |   |
| 10 | 演技後半部分にハイライトが分布していることに対するボーナス<br>シングル・スケートニングのジュニアおよびジュニアのショート・プログラムでは最後の1つのジャンプ要素に適用し、フリー・スケートニングでは最後の3つのジャンプ要素に適用する。（ノービスAは最後の2つ）         |   | シニア・ジュニア | ノービスA    | レフェリー（計時係と協議した後）<br>オンラインでは、PC／計算プログラムが判定し、レフェリーが確認、決定する。オフラインでは、計時と協議後、レフェリーが決定する。   |
|    |   | 該当する各要素の基礎値<br>(BV)に乗数  | 1.1      | 1.1      |   |